

第 52 回 大阪市人権施策推進審議会 会議要旨

1 日時 令和 8 年 2 月 2 日（月） 午前 10 時 00 分～正午

2 場所 大阪市役所 P1 階会議室

3 出席者

（審議会委員） （*：ウェブ会議にて出席）

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| ・佐藤 貢委員 | ・澤田 有希子会長代理 | ・塩中 一成委員 |
| ・高見 理恵委員* | ・谷井 正佳委員 | ・永井 均委員 |
| ・永井 広幸委員 | ・乗井 弥生会長 | ・廣岡 浄進委員 |
| ・藤本 光俊委員 | ・的場 かおり委員* | ・三輪 敦子委員 |
| ・吉田 直哉委員 | | |

（事務局（市民局））

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ・渡辺 市民局理事 | ・堀田 ダイバーシティ推進室長 |
| ・浅井 人権企画課長 | ・宮之前 多文化共生担当課長 |
| ・寺見 共生社会づくり支援担当課長 | ・吉田 人権啓発・相談センター所長 |
| ・高 人権企画課長代理 | ・市田 共生社会づくり支援担当課長代理 |
| ・松井 人権啓発・相談センター副所長 | ・永田 人権企画課担当係長 |

4 議事

〔議題〕

(1) 「人権が尊重されるまち」指標（令和 7 年度版）案

- ア さまざまな人権課題への取組
- イ 啓発事業の取組
- ウ 人権相談の取組

(2) 大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～の改定について（諮問）

〔報告〕

(1) 令和 7 年度「人権問題に関する市民意識調査」の実施状況

(2) インターネット上の人権侵害に関するモニタリングの実施状況

5 議事要旨

【議題 1】

- ・事務局から、「人権が尊重されるまち」指標（令和 7 年度版）案として、さまざまな人権課題への取組、啓発事業の取組、人権相談の取組について説明した。
- ・委員から、経年変化が把握できる調査方法になることは進歩と思うが、それぞれの指標に目標値を設定しないと、大阪市として十分な取組が実施されたか評価できない。また、男女共同参画に関する指標について、他により適切な指標があるのではないかとの指摘があった。

- ・事務局から、目標値に関しては各施策で計画を定めている中で、考え方によって目標値の設定がないものがある旨と、指摘をふまえ、指標としてより適した数値データを、毎年取りまとめる中で検討していく旨を説明した。

【議題 2】

- ・事務局から、大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～の改定についての諮問として、諮問趣旨および、現行計画の概要・大阪市の考える改定の方向性、改定に向けたスケジュールについて説明した。
- ・諮問に対し、会長から審議会に部会を設置して検討を進めることが決定され、部会委員には澤田委員と藤本委員が、部会長には澤田委員が指名された。また、外部からの専門委員としてインターネット問題の専門家など 2 名を選任するため、所要の手続きを進める旨の説明があった。
- ・委員から、人権の視点から他所属の関連施策とどのように連携して進めるのか、しっかりと書き込まれたい等の意見があった。
- ・事務局から、市の各施策に人権尊重の視点をどう浸透させていくかについて、基本的な考え方に落とし込めるよう、これから審議会等で意見をいただきながら検討していく旨を説明した。

【報告 1】

- ・事務局から、令和 7 年度「人権問題に関する市民意識調査」の実施状況について説明した。
- ・委員から、次回調査に向けての設問設定や審議会への情報提供のあり方等の意見があったほか、会長から、より良いものにするために多少の修正・改訂を加えたいが、置き換えると経年比較が損なわれるという、なかなか難しい問題であるとの総括があった。

【報告 2】

- ・事務局から、インターネット上の人権侵害に関するモニタリングの実施状況について説明した。
- ・委員から、モニタリングの対象に関する質問があったほか、ヘイトスピーチ解消法では、ヘイトスピーチは本邦外出身者を対象にしていることから、今後、対象を広げることは十分、検討の余地があるのではないか等の意見があった。
- ・事務局から、同和地区に関する識別情報の摘示は法務省において削除要請の対象と明確に示していることから、まずは対象を限定して始めている。拡充は今後、国で明確な基準が示され、全国統一的な対応を取る方向性が出れば検討していく旨を説明した。

【その他の意見】

- ・同和問題に関する有識者会議での議論が、審議会に反映されるような形で会議を設定していただきたい等の意見があった。
- ・事務局から、審議会で議論するたたき案を作成する部会の前に有識者会議を開催し、そこでの意見を部会の議論に反映できるよう進めていく旨を説明した。